

令和元年11月11日

Press Release

富山市  
福祉保健部 保健所保健予防課  
結核・感染症係  
電話 428-1152 (直通)

## 細菌性赤痢感染症患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 患者の発生状況

- (1) 患者 市内在住の女性（20歳代）
- (2) 経緯 10月31日 腹痛、下痢、血便が出現した  
11月 1日 医療機関を受診した。  
7日 細菌性赤痢感染症と診断された。
- (3) 症状等 抗菌薬投与により、軽快している。

#### 2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

#### 3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

### 予防対策について

- 食品は十分に加熱したものを食べましょう。  
特に海外では、生水、氷、生肉、生野菜等には注意しましょう。
- 食事の前は十分に手を洗いましょう。
- 海外からの帰国後、高熱等が見られる場合は速やかに医師の診察を受けましょう。

## 【参 考】

### ① 県内の細菌性赤痢発生状況

#### (1) 富山県

|       |    |                  |
|-------|----|------------------|
| 令和元年  | 2名 | (うち富山市1名 本事例を含む) |
| 平成30年 | 1名 |                  |
| 平成29年 | 3名 |                  |

#### (2) 全国

|                |      |           |
|----------------|------|-----------|
| 令和元年(本事例を含まない) | 82名  | (11月5日現在) |
| 平成30年          | 268名 | (暫定値)     |
| 平成29年          | 141名 |           |

### ② 細菌性赤痢とは

細菌性赤痢は、赤痢菌による感染症であり、感染した人の便や、便に汚染された手指、水、食べ物、器物を介して、直接、あるいは間接的に感染する。

通常、1～3日で発症し、全身の倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱、水様性下痢を呈する。発熱は1～2日続き、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などの赤痢症状が出現する。

治療は、生菌整腸剤等を投与する対症療法や、抗菌薬療法が行われる。